

学 則

1 研修の目的

- (1) 在宅サービスの中核となる介護職員の養成を図り、超高齢社会への対応の一助とする。
- (2) ただし札幌市の知的障がいのある方の介護職員初任者研修については以下の通りとする。
- ・障がい者が生きがいをもって地域で暮らすことができる社会の実現
 - ・障がい者の「サービスに受け手から担い手へ」の転換
 - ・障がい者の「新たな就労分野」介護・医療業務への挑戦
 - ・介護職員初任者養成研修修了者としての「社会的な自信」の保持

2 研修の名称

- (1) 知的障がいのある方を対象とした介護職員初任者養成研修（札幌市 A）
- (2) 介護職員初任者養成研修（札幌 C）
- (3) 介護技能習得支援講座（札幌市 B・旭川市 B・釧路市・帯広市・函館市）

3 研修の要旨

| 事業所の所在地 | 研修形態 | 修業年限 | 研修期間 | 定員（人） | 受講料（円） | 受講対象者 |
|---------|------|------|------|-------|---------|-----------|
| 札幌市 A | 昼間 | 8 カ月 | 8 カ月 | 16 人 | 3,300 円 | 知的障がいのある方 |
| 札幌市 B | 昼間 | 6 カ月 | 6 カ月 | 20 人 | 3,300 円 | 障がいのある方 |
| 旭川市 B | 昼間 | 6 カ月 | 6 カ月 | 20 人 | 5,444 円 | 障がいのある方 |
| 釧路市 | 昼間 | 6 カ月 | 6 カ月 | 20 人 | 3,300 円 | 障がいのある方 |
| 函館市 | 昼間 | 6 カ月 | 6 カ月 | 20 人 | 3,300 円 | 障がいのある方 |
| 帯広市 | 昼間 | 6 カ月 | 6 カ月 | 20 人 | 3,300 円 | 障がいのある方 |

4 受講手続

(1) 募集時期

開講日の 1 ヶ月前から募集し、前日に締め切る。

(2) 受講料納入方法

受講料は、介護職員初任者研修テキスト代（税込）をオリエンテーション時に納入する。

(3) 受講料返還方法

受講前については、当団体の都合により研修を中止した場合に限り、受講料を返還する。研修開始後は、理由の如何を問わず、受講料は一切返還しない。

5-1 カリキュラム（札幌市A）

| | 講義内容 | 時間 |
|-------|---|-----|
| ○ | 開講式・オリエンテーション・自己紹介・感染予防 「思いやり」を学びあう～介護職員初任者養成研修へ望むもの | 4.0 |
| (1) | 職務の理解 | 3.5 |
| | 介護職の仕事内容や働く現場の理解 | 2.5 |
| | 多様なサービスと理解 | 3.0 |
| | 介護施設ビデオ学習 | |
| (2) | 介護における尊厳の保持・自立支援 | 3.5 |
| | 人権と尊厳を支える介護 | 2.0 |
| | 人権啓発に係る基礎知識 | 3.5 |
| | 自立に向けた介護 | |
| (3) | 介護の基本 | 1.0 |
| | 介護における安全の確保とリスクマネジメント | 2.0 |
| | 介護職の役割、専門性と他職種との連携 | 2.0 |
| | 救急救命の必要性 | 1.0 |
| | 介護職の安全 | 2.0 |
| | 介護職の職業倫理 | |
| (4) | 介護・福祉サービスの理解と医療の連携 | 3.0 |
| | 介護保険制度 | 3.0 |
| | 介護保険制度等（補足） | 3.0 |
| | 医療との連携とリハビリテーション | 3.0 |
| | 障がい者総合支援制度およびその他制度 | 3.0 |
| | 障がい者総合支援制度およびその他制度（補足） | 3.0 |
| (5) | 介護におけるコミュニケーション技術 | 3.0 |
| | 介護におけるコミュニケーション | 3.0 |
| | 介護におけるチームのコミュニケーション | 2.0 |
| | 介護現場でのマナーとコミュニケーション | |
| (6) | 老化の理解 | 3.0 |
| | 老化に伴うこころとからだの変化と日常 | 3.0 |
| | 高齢者と健康 | |
| (7) | 認知症の理解 | 2.0 |
| | 認知症を取り巻く状況 | 1.0 |
| | 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 | 1.0 |
| | 家族への支援 | 2.0 |
| | 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 | |
| (7) | 障がいの理解 | 1.0 |
| | 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、 かかわり支援の基礎的理解 | 1.0 |
| | 障がいの基礎的理解 | 1.0 |
| | 家族の心理、かかわり支援の理解 | |
| ○ | 中間修了評価 | 1.0 |
| | 試験結果集計、採点、合格発表 | 1.0 |
| | 補習 | 1.0 |
| (9)-I | こころとからだのしくみと生活支援技術（基本知識の学習） | 5.0 |
| | 介護の基本的な考え方 | 5.0 |
| | 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 | 4.0 |
| | 介護に関するこころのしくみの基礎的理解 | |

| | | | |
|---------|--------------------------------|----------------------|------|
| (9)-II | こころとからだのしくみと生活支援技術（生活支援技術の学習） | | |
| | 生活と家事 | | 5.0 |
| | 快適な個住環境整備と介護 | | 5.0 |
| | 整容に適したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | | 5.0 |
| | 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | | 10.0 |
| | 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | | 5.0 |
| | 入浴、清潔に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | | 5.0 |
| | 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | | 6.0 |
| | 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | | 5.0 |
| | 死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護 | | 5.0 |
| | 介護施設見学・実習 | | 16.0 |
| (9)-III | こころとからだのしくみと生活支援技術（生活支援技術演習） | | |
| | 介護過程の基礎的理解 | | 5.0 |
| | 総合生活支援技術演習 | | 5.0 |
| | 総合生活支援技術演習（事例検討演習） | | 5.0 |
| (10) | 振り返り | 振り返り | 2.0 |
| | | 就業の備えと研修終了後における実例 | 2.0 |
| | 修了評価 | 修了評価 | 1.0 |
| | | 試験結果集計、採点、合格発表 | 1.0 |
| | | 不合格者補習 | 2.0 |
| | | 再試験 | 1.0 |
| ○ | 修了式 | 実習感想発表会・修了式・写真撮影・交流会 | 4.0 |

5-2 カリキュラム（札幌市B・旭川市・釧路市・函館市・帯広市）

| <p style="text-align: center;">きょうかめい 教科名</p> | <p style="text-align: center;">じすう 時数</p> |
|--|--|
| <p>かいこうしき 開講式・オリエンテーション・自己紹介・就労へ向けてのガイダンス <small>（あいさつ、カリキュラム説明、自己紹介をします）</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 2時間</p> |
| <p>こうぎ 講義 マナー講座・思いやりを学びあう <small>（これからの心がまえと夢を確認しよう）</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 2時間</p> |
| <p>かいごしせつけんがく 介護施設見学 <small>（実際の現場をまず見てみよう）</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 3時間</p> |
| <p>たよう 多様なサービスの理解 <small>（介護におけるサービスについて学びます）</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 3時間</p> |
| <p>かいごしよく しごとないよう はたら げんば りかい 介護職の仕事内容や働く現場の理解 <small>（介護職の仕事や現場について学びます）</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 3時間</p> |
| <p>じんけん そんげん さき かいご 人権と尊厳を支える介護(1) <small>（介護について、基本的な考え方を勉強します）</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 3.5時間</p> |
| <p>じんけん そんげん さき かいご 人権と尊厳を支える介護(2) <small>（介護職が守るべき人権について勉強します）</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 2時間</p> |
| <p>じりつ む かいご 自立に向けた介護 <small>（利用者の自立を目指した介護について勉強します）</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 3.5時間</p> |
| <p>かいごしよく やくわり せんもんせい たしよくしゅ れんけい 介護職の役割、専門性と他職種との連携 <small>（介護職の役割や他の人たちとの協力について勉強します）</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 2時間</p> |
| <p>かいごしよく しよくぎょうりんり 介護職の職業倫理 <small>（介護職員が身につけなければならない考え方について勉強します）</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 1時間</p> |
| <p>かいご あんぜん かくほ 介護における安全の確保とリスクマネジメント <small>（介護現場で安心・安全を守るための勉強をします）</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 2時間</p> |
| <p>かいごしよく あんぜん 介護職の安全 <small>（介護職員自身の安全管理について学びます）</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 1時間</p> |

| <p style="text-align: center;">きょうかめい 教科名</p> | <p style="text-align: center;">じすう 時数</p> |
|---|--|
| <p>介護保険制度 (介護保険制度について勉強します)</p> | <p style="text-align: center;">じかん 3時間</p> |
| <p>医療との連携とリハビリテーション (リハビリテーションの基礎知識と医療との連携について学びます)</p> | <p style="text-align: center;">じかん 3時間</p> |
| <p>障がい者総合支援制度およびその他制度 (障がい者総合支援制度について学びます)</p> | <p style="text-align: center;">じかん 3時間</p> |
| <p>介護におけるコミュニケーション (介護現場におけるコミュニケーションについて、基礎知識を学びます)</p> | <p style="text-align: center;">じかん 3時間</p> |
| <p>介護におけるチームのコミュニケーション (介護現場でのチーム・コミュニケーションについて学びます)</p> | <p style="text-align: center;">じかん 3時間</p> |
| <p>老化に伴うこころとからだの変化と日常 (老化について、詳しく勉強します)</p> | <p style="text-align: center;">じかん 3時間</p> |
| <p>高齢者と健康 (高齢者の健康について学びます)</p> | <p style="text-align: center;">じかん 3時間</p> |
| <p>認知症を取り巻く状況 (認知症を取り巻く状況について学びます)</p> | <p style="text-align: center;">じかん 1時間</p> |
| <p>医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 (認知症の基礎的知識を勉強します)</p> | <p style="text-align: center;">じかん 2時間</p> |
| <p>認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 (認知症によって高齢者がどう変わるのかを学びます)</p> | <p style="text-align: center;">じかん 2時間</p> |
| <p>家族への支援 (認知症患者を抱える家族をどのように支えるかについて勉強します)</p> | <p style="text-align: center;">じかん 1時間</p> |
| <p>障がいの基礎的理解 (障がい基礎知識を勉強します)</p> | <p style="text-align: center;">じかん 1時間</p> |

| <p style="text-align: center;">きょうかめい 教科名</p> | <p style="text-align: center;">じすう 時数</p> |
|---|---|
| <p>しょう いがくてきそくめん せいかつしょう しんり こうどう とくちょう しかわり しえん きそてきりかい 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援の基礎的理解 <small>(しょう いがくてき きそちしき べんきょう (障がいについて、医学的な基礎知識を勉強します)</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 1時間</p> |
| <p>かぞく しんり しかわり しえん りかい 家族の心理、かかわり支援の理解 <small>(しょう しゃ かか かぞく しえん べんきょう (障がい者を抱える家族への支援について勉強します)</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 1時間</p> |
| <p>かいごしせつけんがく じっしゅう にち 介護施設見学・実習(3日) <small>(げんぱ とくべつようごろうじん しょ かいごしせつけんがく じっしゅう おこな (デイサービス現場と特別養護老人ホームの2か所について、介護施設見学・実習を行います)</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 18時間</p> |
| <p>ちゅうかんしゅうりょうひょうか 中間修了評価 <small>(ここのまで まな ないよう りかいど ひょうか (ここまで学んだ内容について、理解度を評価します)</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 1時間</p> |
| <p>しけん けっかしゅうけい さいてん ごうかくはっぴょう 試験結果集計、採点、合格発表 <small>(げんじてん がくしゅうじょうきょう ひょうか はっぴょう (現時点での学習状況を評価、発表します)</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 1時間</p> |
| <p>ほしゅう 補習 <small>(まちが ぶんや ないよう ちゅうしん ふくしゅう (間違えた分野や内容を中心に復習します)</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 1時間</p> |
| <p>かいご きほんてき かんが かつ 介護の基本的な考え方 <small>(かいご かん きほんてき かんが かつ べんきょう (介護に関する基本的な考え方を勉強します)</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 5時間</p> |
| <p>かいご かん きそてきりかい 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 <small>(かいご かん きそてきりかい (介護に関するからだのしくみを学びます)</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 5時間</p> |
| <p>かいご かん きそてきりかい 介護に関するところのしくみの基礎的理解 <small>(かいご かん きそてきりかい (介護に関するところのしくみを学びます)</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 4時間</p> |
| <p>すいみん かんれん じりつ む かいご 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 <small>(じりつ む すいみん かん せいかつしえんぎじゅつ まな (自立に向けて、睡眠に関する生活支援技術について学びます)</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 5時間</p> |
| <p>かいてき きょじゅうかんきょうせいび かいご 快適な居住環境整備と介護 <small>(しょうがいしゃ じ こうれいしゃ かいてき す せいび かいご べんきょう (障害者(児)、高齢者にとって、快適な住まいの整備や介護について勉強します)</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 5時間</p> |
| <p>せいよう てき じりつ む かいご 整容に適したところとからだのしくみと自立に向けた介護 <small>(じりつ む にちじょう み い じ せいかつしえんぎじゅつ まな (自立に向けて、日常の身だしなみを維持できるよう、生活支援技術について学びます)</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 5時間</p> |

| <p style="text-align: center;">きょうかめい 教科名</p> | <p style="text-align: center;">じすう 時数</p> |
|--|---|
| <p>移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 <small>いどう いじょう かんれん</small> <small>じりつ む かいご</small> (自立に向けて、移動・移乗に関する生活支援技術について学びます) <small>じりつ む いどう いじょう かん せいかつし えんぎじゅつ まな</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 10時間</p> |
| <p>食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 <small>しょくじ かんれん</small> <small>じりつ む かいご</small> (自立に向けて、食事介助に関する生活支援技術について学びます) <small>じりつ む しょくじかいじょ かん せいかつし えんぎじゅつ まな</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 5時間</p> |
| <p>入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 <small>にゅうよく せいけつ ほ じ かんれん</small> <small>じりつ む かいご</small> (自立に向けて、入浴介助や清潔保持に関する生活支援技術について学びます) <small>じりつ む にゅうよくかいじょ せいけつ ほ じ かん せいかつし えんぎじゅつ まな</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 5時間</p> |
| <p>排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 <small>はいせつ かんれん</small> <small>じりつ む かいご</small> (自立に向けて、排泄に関する生活支援技術について学びます) <small>じりつ む はいせつ かん せいかつし えんぎじゅつ まな</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 6時間</p> |
| <p>生活と家事 <small>せいかつ か じ</small> (生活援助に関する基本的知識を学びます) <small>せいかつえんじょ かん きほんてきちしき まな</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 5時間</p> |
| <p>死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護 <small>し ひと かんれん</small> <small>しゅうまつきかいご</small> (死を目前にした人への介護について学びます) <small>し もくぜん ひと かいご まな</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 5時間</p> |
| <p>介護過程の基礎的理解 <small>かいごかてい きそてきりかい</small> (利用者の理解と介護計画の作成について学びます) <small>りようしゃ りかい かいごけいかく さくせい まな</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 5時間</p> |
| <p>総合生活支援技術演習 <small>そうごうせいかつし えんぎじゅつえんしゅう</small> (実際の事例について検討し、介護の在り方を勉強します) <small>じっさい じれい けんとう かいご あ かた べんきょう</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 5時間</p> |
| <p>総合生活支援技術演習(事例検討演習)② <small>そうごうせいかつし えんぎじゅつえんしゅう じれいけんとうえんしゅう</small> (実際の事例についてさらに検討し、介護の在り方を勉強します) <small>じっさい じれい けんとう かいご あ かた べんきょう</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 5時間</p> |
| <p>介護施設見学・実習(3日) <small>かいごしせつけんがく じっしゅう にち</small> (デイサービス現場と特別養護老人ホームの2か所について、介護施設見学・実習を行います) <small>げんば とくべつようごろうじん しょ かいごしせつけんがく じっしゅう おこな</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 18時間</p> |
| <p>振り返り <small>ふ かえ</small> (研修を通じて学んだことを振り返り、今後へつなげる介護について学びます) <small>けんしゅう つう まな ふ かえ こんご かいご まな</small></p> | <p style="text-align: center;">じかん 2時間</p> |

| <p style="text-align: center;">きょうかめい 教科名</p> | <p style="text-align: center;">じすう 時数</p> |
|---|--|
| <p>しゅうぎょう そな けんしゅうしゅうりょうご けいぞくてき けんしゅう 就業の備えと研修終了後における継続的な研修 (じっさい じれい とお かいご ぐたいてき つく あ (実際の事例を通して介護について具体的なイメージを作ります))</p> | <p style="text-align: center;">じかん 2時間</p> |
| <p>しゅうりょうひょうか 修了評価 (これまで学んだ全範囲の学習状況と理解度を評価します)</p> | <p style="text-align: center;">じかん 1時間</p> |
| <p>しけん けっかしゅうけい さいてん ごうかくはっぴょう 試験結果集計、採点・合格発表 (これまで学んだ全範囲の学習状況の評価、発表します)</p> | <p style="text-align: center;">じかん 1時間</p> |
| <p>ふごうかくしゃほしゅう 不合格者補習 (しゅうりょうひょうかきじゆん み もの たいしゅう ほしゅう おこな (修了評価基準に満たなかった者を対象に補習を行います))</p> | <p style="text-align: center;">じかん 1時間</p> |
| <p>さいしけん 再試験 (これまで学んだ全範囲の学習状況を再度評価します)</p> | <p style="text-align: center;">じかん 1時間</p> |
| <p>しゅうりょうしき 修了式 (がんば せい か じぶん て (頑張った成果を自分の手にしよう))</p> | <p style="text-align: center;">じかん 1時間</p> |
| <p>こうりゅうかい 交流会 (おも で わ あ (思い出をともに分かち合いましょう))</p> | <p style="text-align: center;">じかん 1時間</p> |
| <p>ごうけい 合計</p> | <p style="text-align: center;">じかん 187時間</p> |

6 主要テキスト
介護職員初任者研修テキスト (株)QOL サービス

7 修了認定

(1) 出欠の確認方法

出席簿に各自押印により確認する。

(2) 成績の評定方法

演習・実習全課程終了後、修了評価にて評定する。

(3) 修了の認定方法

研修教科のすべてに出席し、修了評価にて認定する（研修教科のすべてに出席しなければならぬ）。

【修了評価】

出題範囲

講義内容の全項目が出題範囲となる。

「(1) 職務の理解」から「(10) 振り返り」までとする。

② 出題形式

択一形式及び記述形式とする。

③ 出題数

択一形式 (35問・配点70点)

穴埋形式 (2問・配点10点)

記述形式 (2問・配点20点) 全問正解：100点満点

④ 合否判定

60点以上

⑤ 不合格になったときの取扱

ア 修了評価当日に苦手分野の補習を行い、再評価を実施。

イ 再評価の試験の回数は、原則1回とする。

ウ それでも、もし点数が足りない場合には、不得意分野の担当講師と相談し、課題レポートを提出。

(4) 修了証明書

修了が認定された者には、修了証明書を交付する。

8 補講の取扱い

(1) 欠席した教科については、別途実施の講座を受講することにより、出席したものと扱われる。

補講対象者：欠席もしくは30分以上遅刻した者

受講費用：実費負担

上限時間：講義8科目36時間まで（札幌市A）

講義4科目20時間まで

9 退学規定

(1) 受講者が退学しようとするときは、所定の退学届を提出すること。

(2) 受講者が当団体の定める諸規定を守らず、又は受講者の本分にもとる次の行為があったときには、退学を命じることがある。

ア 性向不良で改善の見込みがないと認められるとき。

イ 学力劣等で修了の見込みがないと認められるとき。

ウ 正当な理由がなくして出席が常でない者

エ 研修の秩序を乱している者

10 講師

講師一覧参照

11 実習施設

実施市町村を中心とした近隣施設

12 その他

特になし

- 注1 事業者が学校等の場合で、法令上定めている学則があっても、介護職員初任者研修に関する学則を別途定めるものとする。
- 2 事業者は、学則そのものを提出する（本様式は、例示である。）。要綱10(1)に掲げる項目については、その内容が含まれるならば、別の名称であっても、項目を統合、追加しても構わない。なお、項目によっては、必要に応じて、別紙として添付すること。
- 3 項目ごとの内容は、以下の点に留意する。
- (1) 「研修の形態」は、講義の実施方法（昼間、夜間及び通信の別）を記載すること。
 - (2) 「修業年限」は、要綱4(3)の期間内であること。
 - (3) 「研修期間」は、研修（講義、演習、実習）の開始から修了までの標準期間を、年、月又は日を単位として記載すること。例 1年、3か月、90日
 - (4) 「受講料」は、講習料、教材料、実習料等受講者が共通して負担しなければならない費用の総額であって、1人分を記載すること。
 - (5) 「カリキュラム」は、別紙1に定める科目（項目）を含み、科目（項目）名、研修時間数等を記載すること。
 - (6) 「出欠の確認」は、講義・演習、実習において出欠を確認する方法、出席簿等について、記載すること。
 - (7) 「成績の評定方法」及び「修了の認定方法」は、要綱12を満たすものであること。修了するには、すべての科目（項目）を受講しなければならないこと。
 - (8) 「補講の取扱い」は、例えば、補講の対象者、受講費用、上限時間数等を記載すること。
 - (9) 「退学規定」は、退学の手続方法（受講者から退学を求める場合と事業者が一方的に退学を命じる場合の方法等）を記載すること。
 - (10) 「講師」は、講師名、担当科目（項目）、資格等を事業所ごとに記載すること。
 - (11) 「実習施設」は、施設名、住所、設置者等を事業所ごとに記載すること。
 - (12) 「講師」、「実習施設」は、別紙として、それぞれ添付3号様式、添付5号様式を利用して構わない。

別紙5 修了証明書

別記・・・介護職員初任者研修課程を記載する。

| | |
|---|---|
| 第 | 号 |
| 修了証明書 | |
| 氏名 | |
| 年 月 日生 | |
| 介護保険法施行令（平成十年政令第四百十二号）第三条第一項第一号ロに掲げる研修の課程（介護職員初任者研修課程・生活援助従事者研修課程）を修了したことを証明する。 | |
| 年 月 日 | |
| 介護職員初任者研修事業者名 | 印 |
| （生活援助従事者研修事業者名） | |

| | |
|---|---|
| 第 | 号 |
| 修了証明書（携帯用） | |
| 氏名 | |
| 年 月 日生 | |
| 介護保険法施行令（平成十年政令第四百十二号）第三条第一項第一号ロに掲げる研修の課程（介護職員初任者研修課程・生活援助従事者研修課程）を修了したことを証明する。 | |
| 年 月 日 | |
| 介護職員初任者研修事業者名 | 印 |
| （生活援助従事者研修事業者名） | |